

件名	地域別懇談会 【ひばりが丘・小松原地域】	頁	1/32
日時	平成21年10月15日(木)	場所	ひばりが丘コミュニティセンター

1. 開会【企画財政次長による開会】

定刻になりましたので、ただいまより平成23年度からの次期総合計画に関わります地域別懇談会を開催させていただきます。座間市において現在、第三次総合計画の計画期間内であり第三次の総合計画につきましては平成3年に策定されまして、平成22年度をもちまして期間が終了と、こういう状況でございます。従いまして、平成23年度からの次期総合計画について皆様方からご意見頂戴し、いわゆる今後の座間市のあるべき姿というものにつきまして忌憚ないご意見をいただきたいとこのように思います。また本日はあわせまして次期総合計画に密接に関連します都市マスタープランというものがございます。これについてもご意見等をいただきたいと考えております。意見交換の後、座間市長より総括的なまとめをさせていただきたいと思っております。また、本日いただきましたご意見につきましては、十分に精査・検討させていただき、計画に反映させ計画案がまとまり次第、第2回地域別懇談会を開催させていただく予定です。その中で具体的な内容につきましてご報告もうしあげ再度ご意見等をいただく予定です。よろしく願いいたします。それでは座間市長であります遠藤市長からご挨拶申し上げます。

2. あいさつ【市長によるあいさつ】

皆さんこんばんは。本当にこのお忙しい時間、夕食の時間帯にもかかわらず大勢の皆さんにご参加いただきましてまずもって深く御礼を申し上げたいと存じます。ただいま開会のご挨拶のなかでもご紹介ありましたが、わたしも座間市においては現在、第三次総合計画の計画期間内であるわけでございますが、平成23年の4月から次期の総合計画、これを策定したうえでその計画にしたがって今後市政について計画的な推進をしていく、こういう時期にきております。第三次の計画については、平成の3年にスタートして前期10年・後期10年全体で20年の計画となっておったわけですが、今回の時期総合計画につきましては計画期間をむこう10年と期間を区切って計画策定させていただきたいと存じております。それは、私が申すまでもなく本当に変化の激しい時代になっておる、そうした世相になっておるわけでございます。とりわけ私ども日本では少子高齢化社会、この高齢化の進行も急ピッチで進んでおるわけでございます。この人口減少については、人的要因を除き歴史上かつて経験したことのない事態、そうした課題を国全体で抱えていくなかで、私ども基礎自治体、市町村、市民生活に密着した立場でどのような施策をとっていくべきなのか、また安心安全そして末永くここで本当に暮らしてよかったと思えるまちにするために何が必要なのかということについて、どんどんこれはやはり考えをめぐらせてこの計画を策定していかなければならない、このように思うわけでございます。今後の社会情勢について正直予測が出来る人はいないというふうに思います。現在取り組んでいる私ども座間市の第三次総合計画、これについては平成3年からということで歩んでおるわけでございますけれども、平成3年という頃をぜひ皆さんにも思い出していただきたいと思うわけでございますけれども、ちょうどバブル経済が終焉を迎えて、坂道をごろっと下り始めた頃だったというふうに私は記憶しております。それから以後失われた10年と言われた日本経済のバブルの低迷期、これが私ども座間市にとっては第三次総合計画の前期計

件名	地域別懇談会 【ひばりが丘・小松原地域】	頁	2/32
日時	平成21年10月15日(木)	場所	ひばりが丘コミュニティセンター

画にあたる期間であったわけでございますし、その後の2001年から以降これが後期計画の該当期間であったわけでございます。日本経済がちょうどその谷間に向かうそうした時期にその前のバブルのそれこそピークからちょうど盛りの頃にあまれた計画が第三次総合計画、それに従って私ども座間市の都市基盤整備というのが特に前半の10年間で進められ、この間のやはり経済危機こうしたものを踏まえた中で、後半の10年間というのがその前半期に進めさせていただいたハードウェアの整備、都市基盤整備の部分でできた市債、これを丹念に償還をしながら市民の生活を守る、こうしたこれまでの取り組みであったのではないかとというふうに私自身は次期総合計画の策定にあたって総括をさせていただいております。その20年前に誰が今日のこの事態を想像したでしょうか。また、前期が終了し後期の10年間を考えると、こうした状態になることを誰が想像したでしょうか。この間にそれこそ携帯電話の普及があり、私ども子供の頃、まさかこんな時代がくるとは思ってもいなかったような状況になり、エネルギー危機というものが目前に迫る中、温暖化とういものがあり、どうも電気自動車というものも今後10年のスパンで考えますとおそらく10年後には相当普及しているんじゃないかといったような社会、そしてシステムの変化があらうかと思えます。こうした状況というものをやはりしっかり踏まえながら、今回の次期総合計画については、それらに対して柔軟に対応出来るようにということで、計画全体を5年間で見直しをし、事業計画については2年にいっぺん見直しをしていく、その時代にきちんとマッチしたかたちでこれを考えていく。見直しをするということを私は盛り込ませていただいております。ましてこの厳しい経済情勢、地方公共団体の財政状況というものもご存知のとおり本当に厳しい状況になっております。その厳しい財政の中で必要なものについて有効に活用して、本当に市民のためになるような行政のあり方、そのためにはやはり市民皆さんのお声、そして何が必要なかということについての率直なお考えというものを、やはり常に耳をすませて、傾けて伺いしていかなければいけない、このように思うわけでございます。これまでこの計画についての策定取り組みの中で、先月からでございますけれども、まず各種団体別の懇談会という、地域で活動されております団体の代表者様と分野別に3日間行なわせていただきました。そしてまちづくりフォーラムということで先般サニープレイス座間の多目的室にて、やはり同じような意見集約の場をもたせていただいたわけでございますけれども、色んな角度から色んなお立場から示唆に富んだご意見を沢山頂戴しております。まずは私ども行政の立場で考えておるんでございますけれども、実際にその行政のサービスを受けられている皆さんにとって、そしてこれから座間を共に作っていただくという皆さんにとって今後こうあるべきだということについて、率直な意見をまず伺っておきたい。そのために今回市内6地区に分けて懇談会を開催させていただき、色々な多様なご意見また地域ごとに違ったお考えもあるかと思えます。そうしたものを集約をさせていただいて、それをまた咀嚼をさせていただき、計画の中にテーマの中に盛り込んでいく。さらにそれをまたご提示してご意見を伺っていく、こうしたプロセスを重ねていく中で、計画を形成していきたいというふうに思っておるわけでございます。そうしたことから今日これからまず私どものほうで今取り組んでいることについての概要の説明をさせていただき、その後はどうか皆さんのほうから忌憚のないご意見をここで出していただいて、それを受け止めさせていただ

件名	地域別懇談会 【ひばりが丘・小松原地域】	頁	3/32
日時	平成21年10月15日(木)	場所	ひばりが丘コミュニティセンター

く、それを今後に向けての取り組みの私どもの糧にさせていただき、そうした場に今日はさせていただきたいというふうに思うわけでございます。これから先やはり、地域の中で希薄化したといわれるコミュニティこれについてもやはりきちんと見直しをしながら、ともに手を携えて助け合いながら、そして信頼しあいながら生きていくそしてこのまちに住み続けていく、こうしたやはり基本的な原点にかえった取り組みというのがまさしく必要になろうかと思えます。そうしてはじめて今回の総合計画策定についての取り組みというのも、まさに市民協働という言葉、私は難しい言葉あまり使いたくないんですけども、やはりともに考えともに歩んでいただくということのひとつとしてぜひ受け止めていただき、今日のこの会合お願いしたいと思います。時間の関係もでございますのであまり長いこともいけないと思いますので、このあたりで失礼いたしますけれどもどうか忌憚のないご意見よろしくお願ひいたしたいと思ひます。

3. 趣旨説明

(1) 趣旨説明及び総合計画位置づけ等説明

総合計画の位置づけ、第三次次総合計画と（仮称）第四次総合計画との違いなど、政策課長が説明。

ありがとうございました。それではさっそくですけれども次の議題のほうに入ってまいりたいと思ひます。まずこれから皆さんのほうに今回の総合計画の関係につきまして、趣旨説明をまずご理解をしていただいて、その後忌憚のないご意見をいただきたいということで私共事務局のほうから趣旨説明につきましてご説明申し上げたいと思ひますのでしばらく拝聴いただきたいと思ひます。よろしくお願ひします。

政策課長の山本と申します。よろしくお願ひします。本日お忙しい中お越しいたくださいませあらためてお礼申し上げます。私のほうから趣旨説明それから今までの取り組み経緯についてご説明させていただきますが、それに先立ちまして資料の確認をさせていただきますと思ひます。まず総合計画の策定の趣旨と枠組みという資料でございます。それから画面を印刷したものの、「都市マスタープラン」とはという1枚の資料、それからニュースレター1号から2号3号と、全部で3部でございます。過不足ございませんでしょうか。なければ趣旨説明を始めさせていただきますと思ひます。総合計画でございますが、地方自治法という法律で策定することが義務付けられているところでございます。本市では昭和47年に座間市総合計画を策定しており、2番目の総合計画としまして55年から平成2年までの間、座間市新総合計画を作成しております、そして今現在計画期間中でありまして第三次総合計画を平成3年に定めまして、22年までの計画となっております。その第三次総合計画も残すところあと1年半というなかで新しい総合計画を策定していくということでございます。新しい総合計画策定にあたりましては市民の皆様方からご意見等を十分にお伺ひしたなかでそれらを計画に反映することで総合計画が市民の皆さんと共有する目的として定め、1人でも多くの市民の方々がこの座間に住んでよかつたと思ひえるような計画にしたいという考えであります。今までの取り組みについて簡単にご説明させていただきますと思ひます。本年3月には小学生児童を対象に私の座間というテー

件名	地域別懇談会 【ひばりが丘・小松原地域】	頁	4/32
日時	平成21年10月15日(木)	場所	ひばりが丘コミュニティセンター

マで絵画コンクールを実施させていただきました。500を超える応募がありましてそれぞれふるさと座間を想う気持ちに溢れる作品ばかりでございました。また同月には次期総合計画をどのような方針のもとに作成するのかを明らかにする策定方針を策定させていただきました。4月18日には次期総合計画策定のキックオフとして、まちづくりシンポジウムを開催させていただきました。125名の市民の皆さんの参加をいただいております。それから8月20日には座間こども議会を開催させていただきました。座間の未来に向けたまちづくりについて子どもの視点から提言や質問をいただきまして、児童生徒が今後の目標として座間こども議会宣言というものを採択し、発表を行いました。また8月から9月につきましては皆様のお手元にも届いているかと思ひます、葉書のようなかたちで、あなたが思い描く12年後の座間というようなテーマで皆様から一言メッセージを募集いたしております。現在のところおよそ2000件のご意見等をいただいている状況でございます。そして9月の28、29、30日の間、各種団体懇談会を開催させていただきました。健康福祉、生活環境、産業労働、それから教育文化というような分野別に、開催させていただいております。それから10月4日には、まちづくりフォーラムをサニープレイスの方で開催させていただいております。これにつきましては、65名の市民の方に、ご参加いただきました。それから本日も含めまして14日から22日までの間、6箇所の会場に分けて地域別懇談会を開催させていただいております。これにつきましては、冒頭お話ありましたように、第1回目として開催させていただくもので、2回目としましては、来年、案がまとまったような段階で、また皆様方からご意見等を頂きたい、そのように考えております。また、10月30日から11月12日にかけては市民まちづくり討議会というものを開催予定でございます。これはなかなかご発言機会がない方や市政に関わりがない方々の意見をいただきたいということでございまして、2000人の方に無作為でご案内をさしあげて、参加いただける方にご意見を頂戴しようとする新しい試みでございます。市民の方々に関係することについては以上でございますが、いずれも市のホームページ等で詳細を掲載しておりますのでご覧になっていただければと思ひます。また本日お配りした次期総合計画のニュースレターにつきましても、これもホームページ等で紹介さしあげております。また自治会からも回覧をさせていただいておりますのでご覧になっていらっしゃる方もいらっしゃると思ひます。今後も広報座間やニュースレターなどで総合計画策定にあたっての進捗についてその都度お知らせしていきたいと思ひますのでよろしくお願いいたします。それでは本日配布さしあげました資料についてのご説明に移らせていただきたいと思います。まず1ページ目の策定の趣旨でございます。これにつきましては、総合計画の定義と経済環境など市を取り巻く環境の変化などに対応する計画をしなければならない、それには何が必要かというようなことを記載しています。平成4年にはバブル経済の終焉を迎えた、その後10年については失われた10年と言われているということでございます。平成12年には地方分権一括法というようなことで分権の礎となる法律が制定されております。それから平成17年には日本の総人口の減少が、少子高齢化社会の到来、三位一体の改革による財政の硬直化、これは直接座間市には関係ございませんが平成の大合併ということで平成11年3月現在では3232自治体が、来年3月には1753自治体になろうかというような変化がございます。資料には記載してございませんがその他にも

件名	地域別懇談会 【ひばりが丘・小松原地域】		頁	5/32
日時	平成21年10月15日(木)	場所	ひばりが丘コミュニティセンター	

平成12年には介護保険法、平成20年には後期高齢者医療制度が導入されました。本市の特徴・特別なものとして平成7年には自動車関係企業の閉鎖：生産レーンの閉鎖というような大きな出来事がありました。そう状況にも適確に対応した即応性の高い計画を策定しなければならぬということを記載しております。次に計画構成期間でございますけれども、このような策定趣旨を踏まえて、次期総合計画の計画構成期間などを記載してございます。現在の第三次総合計画は20年間でしたが、次期計画ではこれを10年間とする、これは先ほどの時代の変化を踏まえるための変更でございます。また現在の第三次総合計画では基本構想と基本計画、実施計画という三層の計画でございました。次期総合計画ではわかりやすくするために基本構想と実施計画という2層にいたします。なお、実施計画は4年間で2年ごとに見直していくというような考えでおります。また新しい取り組みとして、より具体的に重点的に取り組む計画としまして戦略プロジェクトを策定し、より目的や成果を明確にして検証できるような戦略プロジェクトを導入しようと考えております。次に2ページでございますが、座間市の人口、現在までの推移を示してございますが、市内人口につきましては、平成47年までの推計人口を記載してございます。現在微増を続けている状況でございますけれどもまもなくそれも終焉し、人口が減少していきたくらうと世帯数については横ばいですが、年齢別の将来推移でございますが、座間市において平成18年には老年人口と年少人口の逆転現象が起っております。高齢化率が人口の21%を超えると超高齢化社会と言われております、座間は25年にはその超高齢化社会に入っていく、そういう推計をさせていただいております。こう見ますと高齢化が進んでいくということは明白であろうかと思いますが、ここでちょっと座間市の特色といたしましてお話させていただくと国勢調査ベースで、783都市中、生産年齢人口というのが、27番目ということで全国でみれば多い状態にあります。老年人口についても下から数えて45番目、若い都市という特性をもっているということになります。3ページ目の土地利用につきましては、地域の17.58㎢のうち市街化区域が71.3%を占め、県央地域では大和市に次いで2番目に市街化区域率が高い。そして住宅・商業・業務用用地が増加しており、工業・農業用地が減少しているとそういった現況を記載してございます。次の4ページから5ページにつきましては、分野別の特性と課題を記載してございます。①としまして健康・福祉分野、②としまして市民参画・コミュニティ、③としまして教育・生涯学習・スポーツ、④としまして都市基盤整備、⑤としまして環境・廃棄物、⑥としまして産業、⑦としまして行政経営、以上の分野の特性と課題を記載してございます。内容につきましては記載の通りですので省略させていただきます。次の6ページ目でございますが、ここでは社会潮流を記載してございます。これにつきましては人口減少社会、高齢化社会の進展、地方分権から地域主権社会へ、ソーシャルマネジメントの時代へ、低炭素社会の具体化、情報化の進展、社会と経済・雇用構造の変化、グローバル化とフラット化の進展、安心・安全の確保、教育環境の変化と教育改革、そのような社会潮流をまとめてございます。最後に7ページでございますけれども、実効性のある計画に向けてとして3段目に記載してございますけれども、市民の皆様が共通して目指すことが出来る将来都市像や市民生活像を明らかにし、市役所と市民との役割分担を明らかにする計画として策定すると記載してございます。最後にこのページ1枚でございますが、ここに示させていただいております

件名	地域別懇談会 【ひばりが丘・小松原地域】		頁	6/32
日時	平成21年10月15日(木)	場所	ひばりが丘コミュニティセンター	

す。1 としまして、健康への取組み 安心 健やかなまち、2 番目としまして、自立 めくもり 支えあうまち、3 番目としまして、共に考え 共に歩む 安心のまち、4 番目としまして、豊かな心 明日への希望 育みあうまち、5 番目としまして、安全 憩い 快適なまち、6 番目としまして、おいしい水 安全な水 衛生的なまち、7 番目としまして、環境との調和 暮らしの活力 持続可能なまち、8 番目としまして、未来志向 的確な判断 確かな希望をいただける経営、9 番目としまして、市民基点 柔軟な発想と行動 信頼される市役所というものを将来都市像の案として掲げさせていただいております。今後この将来都市像を市民との皆様のご意見等を伺いながらまとめ、さらにこの将来都市像を実現するための市民生活像はどうあるべきでどのように実現していくかということを含め、今後明らかにしていきたいと考えております。以上で私の説明を終わりにしたいと思います。

(2) 都市計画マスタープラン趣旨説明

都市計画マスタープランの位置づけ、改定の目的など、都市計画課長が説明。

つきまして総合計画と非常に密接に関係してございます都市計画マスタープランの関係につきまして都市計画課長のほうからご説明さしあげます。

はじめまして都市計画課長の森田です。どうぞよろしくお願ひいたします。本日はご多忙のところご出席いただきましてあらためてお礼申し上げます。それでは私のほうから都市マスタープランについて趣旨説明をさせていただきます。それでは私のほうから法律的な位置づけも含めこちらのお手元に配布させていただきました都市マスタープランとは、という資料に基づきましてご説明させていただきたいと思ひます。それでは 1 点目の都市マスタープランとは、からご説明させていただきたいと思ひます。各市町村が作成します都市マスタープランは市町村の都市計画に関する基本的な方針として都市計画法第 18 条の 2 に定められている法的な計画になっています。都市計画の内容としましてはここに書いてありますとおり、土地利用の規制誘導、道路や公園等の整備、自然環境の保全などまちづくりをするうえでの基本的な計画となります。計画の策定にあたりましては総合計画と則することが定められており、また市民等の意見を反映させることも併せて求められております。座間市都市マスタープランを概念図で示しますとこのような図となります。国・県の計画、市の計画これらを受けて座間市都市マスタープランを作成します。これに伴いまして都市計画の分野別計画、具体的な都市計画としての決定事項が都市マスタープランによって定められます。次に 2 点目としまして座間市都市マスタープラン改定の目的としましては、現在マスタープランは、平成 13 年に策定させていただきました約 8 年が経過しております。この間都市計画法の改正や景観法の制定、総合計画の説明のなかでも触れられておりました少子高齢化の進展や経済情勢、激変する社会潮流等このような背景を踏まえ現計画を検証し、検証した上で時代に即した計画とするための改定となります。なお、計画の策定に当りましては、関連計画との整合に充分配慮して行つてまいります。3 点目の次期計画の計画期間ですが目標年次としましては、総合計画と同じ平成 32 年度を予定しております。4 点目の座間市都市マスタープランの構成としましては市内全域を対象とした

件名	地域別懇談会 【ひばりが丘・小松原地域】	頁	7/32
日時	平成21年10月15日(木)	場所	ひばりが丘コミュニティセンター

全体構想と市民に身近な地域を対象とした地域別構想、及びこれらを実現するための、実現化方策を定めさせていただきたいと思います。全体構想としましては将来目標、都市像の設定をさせていただき都市づくりの方針を定めさせていただきます。地域別構想としましてはおのこの地域の都市づくりの方針を定めさせていただきたいと思っております。これらの構想を踏まえまして実現化方策として都市マスタープランを推進するための方策を定めさせていただきます。なお、都市マスタープランは総合計画と密接に関係しておりますので次期総合計画と連携をとりながら進めさせていただきたいと思います。以上が都市マスタープラン改定の趣旨説明となりますが、いずれにしましても各種団体との懇談会や今後予定されております各種市民参加の過程で幅広い市民の皆様からのご意見等をお聞かせいただき、都市マスタープランへ反映させていただきたいと考えておりますのでよろしくお願いしたいと思います。以上で私の説明は終わります。ありがとうございました。

4. 意見交換

【市役所】

それでは意見交換に入りたいと思います。意見交換につきましては、限られた時間でありますので懇談会が効率良く円滑に進むために、総合計画策定に経験がありノウハウを持つ今回来ておりますパシフィックコンサルタンツの進行支援をお願いしておりますのでご了承いただきたいというふうに思っております。それではよろしくお願いいたします。

【コンサルタント】

よろしくお願いいたします。先程ご紹介いただきましたように今回皆さんが、あと市の職員の皆さんが計画を策定するための側面的な支援として、特に今日はですけど、皆さん多くの方が色々な方がご参加されておりますのでより多く発言いただけるようにコーディネートといたしますか、司会役をさせていただきたいと思います。よろしくお願いいたします。ですので、今日私がこれで何かまとめるとかそういうようなことは一切ございませんので、よろしくお願いいたします。

さて、今市のほうからご説明ありましたが、総合計画の策定の趣旨と枠組みの最後のところに将来のまちのテーマ、将来都市像や市民の生活像というところで、将来こんなまちになっていたらいいんじゃないかと漠然とはしておりますが、そういうことを今考えていて、それについて皆さんからご意見を頂きたい、実際それをどうやっていったらいいか、実際の現実とこうなっているんじゃないかというあたりを含めて、ざっくばらんにご意見をいただくという会でございますので、よろしくお願いいたします。それではまず最初にどうぞお願いいたします。今マイク参りますので議事録のためにもご協力願います。

【参加者】

ひばりが丘の〇〇です。都市計画図最新のを出示していただけますか。

件名	地域別懇談会 【ひばりが丘・小松原地域】	頁	8/32
日時	平成21年10月15日(木)	場所	ひばりが丘コミュニティセンター

【コンサルタント】

ご質問の点をまずしていただいたほうがいいと思いますが、それでは内容的にどういった趣旨であるかだけ一言言っていたらと。まず、都市計画図はありますけども、皆さんにはこのままでは見えないんですが、どうでしょうか。ここはこうなってるからどうだろうとか、ここはこうしてほしいというのがあれば、せっかくですからざっくばらんに言っていたらほうがいいと思いますけどいかがでしょう。

【参加者】

図面に線を引くのは簡単なんですけど、住民の皆さんもたくさんいますんで、図面に線を引くだけで本当に道路っていうのは出来ないと思うので、その点を例えば相模が丘から大和斎場までの道路とか、その辺を言いたいんですが。

【コンサルタント】

もう少しいただけますか。こうしてほしいというのがあったほうが多分どうするかよりも一応、計画上はこうなっていて、色々考えているというところだと思うんですが、何かご意見があればもう一言お願いしたほうがいいと思いますが、いかがでしょうか。関連であれば、せっかくですから同じような感じでお願いします。

【参加者】

私〇〇と申します。コンサルタントの人ということでそういうのが果たして本当にピンとわかってくれるどうかかわからないんですが、いわゆる地域格差、1971年に座間市が市制になりましたよね。それから38年経ってるわけです。今、遠藤市長が4代目というところがあるんですが、それよりも鹿野さんとか本多さんがこの中で半世紀を迎えたと。星野さんが市長となったという中で、第四次総合計画という中で市議会の地域性、いわゆる官の人たちが役員かたぎの話やろうという自分が住んでるなか、先般、教育長があ席で自分の住んでいるところの住民の挨拶を聞いて、非常に良かったというそういったコメントがあったんだけど、そういう皆さん方が実際に座間に住んで住民間のしてるサービスですね、例えば先般、コミュニティーバスの路線計画変更とかありましたよね、だけど例えばさがみ野駅、それから座間駅のこの度南口側の道路整備が非常に狭くてこれから色々あると思うんですが、今、座間全体の公共下水工事としては例えば他の方は知りませんが、ひばりが丘に関して言えばほぼ公共下水工事等に関しましてはほぼ出来上がったと思うんです。これも、ひばりが丘を背負った、ある1人の議員さんが有名だと思いますけど。それともう1つは道路整備もされてきたと思うんです。それを踏まえて駅周辺の住民の利便性以外にそれから遠く離れた地域、例えばさがみ野駅の周辺はいいでしょう、だけど西側の遠くの人たちはどうするんだというときに、総合計画の生活の場としての地域社会をする際に、やはりそういう地域格差をなくしてですね、平等に地域が利便性を持った生活が営めるような、強いていえば座間のこの10年間の指針の中に座間としての座標をどういう座標を持ってやっていくかということ、それをひとつお聞きしたい。

件名	地域別懇談会 【ひばりが丘・小松原地域】	頁	9/32
日時	平成21年10月15日(木)	場所	ひばりが丘コミュニティセンター

最後にもう1つはですね、これ以上申し上げましたけどもうひとつは、今市長も言われたように現在75歳以上の高齢者、座間は市制1971年頃は6万から6万2千の人口が今12万8千555人ですか、約2倍になっている、けども、現状からいくと75歳以上の人が占める人口の2万5千人近く、75歳以上の人一区切りで。これは全く政策課長の話しですと、65歳の人が増えている感じです。そして今の高齢者というのは非常に元気です。知恵もあります。経験もあります。非常に健康です。皆さんご存知と思いますが、今年の5月にゲートボール大会がありました。全国大会。その際にひばりが丘が1チームが県代表として徳島のほうに行って、2回戦で負けましたけども、全国大会で行きました。現状は私が掴んでいる中では約100名以上のゲートボールをやっている、高齢者という言葉が非常に嫌いなんですが、我々から言いますと先輩者がいらっしゃいます。その方たちは非常に元気です。もともとゲートボールというのは北海道で生まれたっていうものですけど。そういった中に現状はそういう運動公園が無いということですね。これは色々議員の方々とかしっかり言ってると思うんですが、例えば南林間から市役所行く途中の赤い橋がありますが、その左側に右か斜めか知りませんが、そこを整備することによってかにかが沢公園で散歩コースで、そこを運動公園として整備してもらって運動公園の中に2レーンでも3レーンでもいいですからゲートボールが出来るスペースを考えていただければありがたいなと。実際に、先ほど言いました全国大会に出席した座間のゲートボールの会長のコメントによりますと、海老名とか他のところから招待をしたり色々やったと、芹沢公園かな、地面がコンクリートというふうなのがあって、そういった面を含めてちょっと考えていただければありがたいかなと思ってます。

【コンサルタント】

ありがとうございます。今ひとつ駅から遠い地区の将来についてのあり方、方向性についてご意見、考えをほしいということと、具体的な、もう1つは運動公園のようなもの、ゲートボール場のコート、将来の今後の話にもなりますので、最後にこういうことについての方向性など市のほうからいただくとしまして、せっかくですので時間も限られてます。皆さんから多くいただきたいと思います。話のルールとしまして、皆さん多くのご意見お持ちだと思いますので1つ、2つ、3つ、4つある方、まず最初主な点2つぐらいを簡潔にお話しいただいて、一回りしてまだお時間がありましたら残りをいただくと、そんなかたちでお願いしたいと思えます。それでは後ろから3番目、今手挙げていただいた方をお願いします。

【参加者】

前のほうにお偉い方が沢山いますので、ちょっとご質問したいと思えます。ISOの14001というのはご存知の方は手を挙げて下さい。そちらに言ってるんです。知らんですか。市長ISO14001ってなんですか。

【市役所】

環境に対しての、座間市のほうでですね、認証いただいている環境に対しての取り組みです。

件名	地域別懇談会 【ひばりが丘・小松原地域】	頁	10/32
日時	平成21年10月15日(木)	場所	ひばりが丘コミュニティセンター

【参加者】

これは継続して維持していくということですか。

【市役所】

はい。

【参加者】

それではもう1つ1900か2000がありますよね。

【コンサルタント】

すみません、趣旨としてはどういうご要望があるのか

【参加者】

I S O連続してるんです。

【コンサルタント】

多分ですね、参加の皆さんも何を聞きたいのかという

【参加者】

参加してる人はわかりませんよ。ただ市役所の人はわかるはずです。

【コンサルタント】

最後ですね、何をお聞きしたいか最後のところをまずちょっとお伺いして、お願いします。

【参加者】

1900と2000というのは、お客さんに対する品質なんですよ。対応なんですよ。これをしっかりやられておりますかということなんです。これは、古くなってます。14001に遅れをとってます。早く行ってますけど、こっちのほうが大切なんですよ。今横浜市ではやはりI S Oというのはスイスで本部がありまして、非常にニーズによって審査料がかかるんで、横浜市としては廃止してます。これが私どもの企業でもやはり相当な費用がかかるんで、もう何年かやってれば出来るんじゃないかと、そんなものは第三者に審査されなくとも出来るんじゃないかということで、審査を拒否するというような方向で、横浜市はやっているんですね。ただ、座間はまだそっちのほうをやってないということになりますと、行政に対するサービスが行き届いていないということになりますので、そのへんはひとつぜひやっていただきたいと思えます。私は以上で。

件名	地域別懇談会 【ひばりが丘・小松原地域】	頁	11/32
日時	平成21年10月15日(木)	場所	ひばりが丘コミュニティセンター

【コンサルタント】

ありがとうございます。それではまずその手前の方。こちらの前の方ですね、お願いいたします。

【参加者】

こんばんは。自治会のほうの担当しております〇〇と申します。今お手もとの資料の中4ページ目にありまして、市民参加のコミュニティということで、その点に関しまして、今後の10年先見ていって自治会と市との関わり合いの中で今後どう考えていくかをお尋ねしたいと思っています。おそらくこの新しい計画についてはハード路線からソフト路線に切り替わるということで、今までいただいた資料の中に書いてありまして、色々な意味で地域の活性化とか地域を大事にしながら、地域の意見を求めながら、またそれを聞きながら新しい10年間を作っていくというお話が出てくるかと思うんですが、その基本として、私の自治会としては地域の中心的活动、組織として自治会というのは存在してるわけですし、その存在してる中でご存知のごとく自治会でもかなり大きな課題ございまして、地域コミュニティの意識の低下とかということで減少傾向にあると、また高齢化、自治会そのものが高齢化しておりまして、各代表するものが大変な苦勞しながらやり繰りをしている、あるいは新しく来た方がメリット・デメリットの関係で自治会に入る、入らない問題で、自治会に入る方っていうのは減ってきているという大きな課題が沢山抱えているわけです。その中で市としてはやっぱり自治会にして頼りにしてるというか、自治会として一緒にやっていくなれば、今ここに書いてありますけれども自治会の再生・活性化が求められるということではなくて、むしろ積極的に市も協力と言いましょるか、今後その10年間にどう積極的に自治会を活性化し、一緒になって活性化していくか、また、これから自治会をどう協力しながら市として協力していくかというのを、ぜひ具体的に盛り込んでほしいと思います。都市計画、あるいはその地域活動の計画の中に入れていっていただければと思っています。以上です。

【コンサルタント】

ありがとうございます。先程の方、申し訳ございません。もし自治会の話で関連するものがありましたら、後ほどお渡ししますので、自治会の関係でお話することがありましたらお願いいたしますけど。自治会の関係ですね、あとコミュニティの関係などでご発言ありましたらお願いします。

【参加者】

先般、8月21日付けの市議会便りのほうに遠藤市長がコメントしたと思うんですが、もともとは昭和45年後頃に、正式には非常勤特別職の選挙制度というのをやっています。昭和55年に廃止したと、廃止した理由は行政が介入しちゃいけないんだということがあったと。当時の、当時は今より15から11多くあったと思うんですが、それを6つに分けて私も〇〇さんとは85歳、〇〇県出身で非常に元気ですが、出会いがあって、色々話するんですけども、その

件名	地域別懇談会 【ひばりが丘・小松原地域】	頁	12/32
日時	平成21年10月15日(木)	場所	ひばりが丘コミュニティセンター

復活の話はどうだっというのは出てると思うんですね。その時に私ごときに言う筋合いはないんですが、3丁目でも今ひばりが丘自治会協議会というのが10かそこらありました。その中の6つぐらいは3丁目なんです。それはちょうどその当時、今息子の代ですが、本人は死にましたけれども、いわゆる金の使い方、これがあって分散したという経緯があります。それで2年前か何かにまたある方が、今生きてるか死んでいるかわかりませんが、また同じことがあったと。だけど、それはやった本人の問題もあるんですが、周りがたかって、言葉は悪いですが、たかってついていったという、それが例えば会長ということで10年間やって色々使ったこともあって、そして今までこれから先は皆さん、道州制というのがあると思うんですね。現在ですと47の都道府県の地方州とか地方政府、基礎自治体的な団体ということでひとつのあれになると、その中の住民自治を担うのは、やはり自治会が非常にベースになると。そういう中に今、〇〇さんが言われたように確かに東京から来た人間はメリットあるんですか、ないんですかというのは良い悪いなんて出てると思うんですね。今それに対する説明責任というかそのへんのことも含めて、これからの運営を、このプランにしても住民の権威は非常に、住民側がやはり主役ですから。その辺の整理を今言ったように今まで以上に住民自治に対する自治会との整合性をやって、住民が自治会に入ってる入ってないを別にして、合理化を図って情報公開をやってほしいと。それがあある意味ではまちづくりのひとつのアイデアというか発想になるんじゃないかと思しますので、そういうことだけお聞きしておきます。

【コンサルタント】

ありがとうございます。今のようなご意見もありましたので後ほど色々自治会等の話は色々あると思いますので、今後の市の検討の方向性なども含めて最後にお話をいただければと思います。それではその他、先程自治会の関係であればもうひとつぐらい。自治会の関係でお話しならばすみませんお待たせしてしまいますが、そちらの前のほうの方で。その次は手の順番でいくと後ろから3番目の方でというかたちでいきたいと思います。

【参加者】

私はここの館長を今やっています〇〇です。計画はだいぶ立派な計画が出て、予定として出てるようですが、これは皆さんの意見を聞いてまとめているという趣旨ですね。今、平成3年に第三次総合計画が出たときに、コミセンの計画ということで話が出たと思います。だけど、まだ8館がやっと12月に完成するという計画なので、11館なら11館つくるという計画だったんですが、このへんの遅れはどうなっているのか聞きたいです。

それと、今、ここのコミセンにもひばりが丘が平坦地でございます。自転車置く場所もない、皆さんが来ても車どこにしたかわかりませんが、車置く場所もない。そういう状態なので、とにかく、これから何を作るにしても車社会ということなので、このへんも含めた計画をしてほしいなというふうに思います。先程の都市マスタープランというのを見ると、大分立派にらしてありますが、そのへんを含めてやっていただければというふうに思います。

あと、いちばん今お年寄りが困っているものが病院です。病院が全然ありません。大和市立

件名	地域別懇談会 【ひばりが丘・小松原地域】	頁	13/32
日時	平成21年10月15日(木)	場所	ひばりが丘コミュニティセンター

病院に行けば座間の人間ははじき出されるような状態でございますので、例えば入院しても金額は高いです。そういうことでやはり市で計画するということは病院というのは赤字になるんじゃないかなというふうに私は判断しますが、このへんを含めて大きな病院をどこかに作らせるという計画をしてほしいなというふうに思いますので、よろしくお願ひします。以上です。

【コンサルタント】

ありがとうございます。それでは何人かお手を挙げて少し待っていただいた方いらっしゃいますので、こちらの後ろからそのマスクの方お願ひいたします。次そちらの。

【参加者】

ひばりが丘の〇〇と申します。この将来都市像の中にもいちばん最初に出てくるように、健康、先程私の前にお話しされた〇〇さんも言われてましたけど、病院という問題ですか、私近くの近隣の市の消防の方から聞いたんですけど、救急の方が海老名あたりは比較的受け入れ先が結構あるんですけど、座間の場合は子どもは結構受け入れ先はあるんですけど、大人の場合の受け入れ先が非常に困っているという話を聞いたんですね。実際救急病院が座間にどのくらいあるかということは私よくわからないんですけど、というようなかたちで今ひばりが丘も高齢化が進んでいると思いますので、そういった病院が増えてく、救急施設ですか、そのへんのちよっと充実をよろしくお願ひしたいと思います。

【コンサルタント】

ありがとうございます。それでは待っていただいている3番目の真ん中の方ですね、お願ひいたします。

【参加者】

ちょっと話をさっきのこの方のフォローしたいんですが話戻します。この総合計画というのを考える場合に何が何でも、1にも2にも私は地域の自治会の活性化、そして自治会が強化されるということではないかと思うんです。そういうことからして、座間では自治会の加入者率が大変低いということを市長はじめ皆さん方はどのように認識してらっしゃるか。これは重大なことで、我々地域としてはこの自治会をどういうふうにして盛り立てていくか、問題性を克服していくか、これは私たちの問題になってくると思いますけども。そこで、ちょっとある方には耳に痛い話になるかもしれないんですが、ひばり地区連絡協議会というのがあるんですけども、ひばり地区の全体の自治会の地図というのを見ますと、3丁目4丁目のあたりの自治会の区割りが非常に雑然としていて、まさに無政府状態だと私は言いたい。ある自治会においては飛び地がありましたよね、それからマンションが独自で自治会を作ってるという例がいくつかあるんですけど、これは無いよりはいいんですけども、これはその周辺の地位から孤立している存在ですので一考を要すると思います。それから自治会の無いまちというものもあるんですね。そこに住んでる人たちは自治会というものに入りたくても、その自治会が無いというのが

件名	地域別懇談会 【ひばりが丘・小松原地域】	頁	14/32
日時	平成21年10月15日(木)	場所	ひばりが丘コミュニティセンター

問題と。私たちの場合は自治会で退会する人、入る人色々あるんですけど、これは自治会があるし、ちゃんとやっていますから、その問題とは全く違います。自治会のないまちというのがあるってことが現実です。こういうことについて、やはり、ひばり地区連合協議会はこの何年長い期間を渡って発展してきました。この協議会が期待しているものってこういう問題を精査して、分割化合併化という自治会の再編、そういうものに取り組む必要があるというふうに思います。もう1点話したいことあるんですが、後にします。

【コンサルタント】

よろしいですか、すみません。もう少し自治会、今お話しされました自治会のどうやって加入率を上げるか、そのために市は自治会は何をすべきか、もし皆さんからご提言などありましたらお願いいたしたいと思います。前のほう、まずこちらの方からお願いいたします。今マイクきますので少々お待ち下さい。

【参加者】

自治会に今入らない、入るといふ、座間市が新聞折込だとかそういうもので皆さん入るも入らないも情報が受けられるわけです。昔は、自治会経由で情報を与えてたものを最近に入らなくても情報は入ってくるんだから、入ることはないんじゃないか、入って得になるものは何かあるのか。今の現在からみますと、あまり自治会に入るといふものが少なくなっているんじゃないか、そういうことで自治会をもっと、優先的に人員を増やすのならば情報はですね、自治会から情報を与えるというような方式に少し変えていったらどうかと。

【コンサルタント】

ありがとうございます。拍手もありましたが。それでは続きまして、多分、今のお話メリット、デメリット多種多様なご意見あると思いますので、今のが全てというわけじゃないと思いますが、まず皆さんお話し下さい。

【参加者】

3 丁目の〇〇と申します。先程からプランを聞いてますけど、今、座間市で高齢化も進んでいる状態です。老人をそういう福祉施設というんですか、そういうものをプランの中に練って作って下さい。それでないと、この先あと10年も経ったら本当に座間は老人、おじいさんおばあさんでいっぱいになるので、今、座間市では、この間話聞いたんですけども、施設に入るのに300人順番待ちしてるという話なんです。皆さんご存知だと思いますけども、そういう施設に入るのは入所金といいますか、最初五百万なり一千万なりとお金払わなくちゃいけないんです。貧乏人はとてもじゃないけどそういうことは出来ません。金持ちはそういう施設に入って、我々は介護保険ですか、保険を出してその保険でもって悠々と生活している、貧乏人は一体どうするかってことをこれから考えなくちゃいけない時代になってきました。ですから、この際ですから、座間市もひとつの例として、小学校の空き教室を利用するとか、高校の空き教室を

件名	地域別懇談会 【ひばりが丘・小松原地域】	頁	15/32
日時	平成21年10月15日(木)	場所	ひばりが丘コミュニティセンター

利用するとか、そんなかたちでもって老人のそういう施設を造ってもらいたいと思うんです。今のままでいくというと、我々は歳とって今度そういうところ入るとなったって、お金がないから入れないんです。だから、金持ちを貧乏人が養っているような今状態なんです。そういうことがないように、座間市としてもそういう施設をひとつ造ってもらいたいと、これが私の希望です。

【コンサルタント】

ありがとうございます。どうぞ色々お時間も限りありますので、今の話の続きでも結構ですし、全く違うお話でも結構です。よろしいですか。前のほうでよろしければ。お願いいたします。

【参加者】

私もこの間、団塊の世代ですね、会を開いたんですけど、やはり皆さん元気だ元気だと言うけど、座間市で開催して、応援会そういうものの参加率が活動してる方、積極的に出ていただいているんですけど、座間市で計画して、そういうものの普通の方の参加率が少ないんですよね。元気なのはいいんですけど、やっぱりせっかく座間市で開催してるものに参加というものがもっと積極的に参加すべきじゃないか、それじゃなきゃ計画されても意味がないんじゃないかとそう思います。

【コンサルタント】

ありがとうございます。それでは前から3番目の方が先程から手を挙げていらっしゃたので、すみませんがお願いいたします。

【参加者】

ひばりの〇〇と申します。沢山意見があるので。その前に先程のISOですね。先程世界標準規格ですか、かなり契約にお金払っています。14001を取得してからかなり年数経っていますが、今、市のどの程度の実際にISOに準じてるか、もう一度見直しする必要があると思います。とるのに大変な努力をして取ったわけですけど、やっぱりもう一度見直してから、やめるか継続するかどうしたらいいかなと。

座間市のビジョンについては健康への取り組み安心のまちとありますが、私は年に1回いちばん身近な健康チェックのために、人間ドックに行ってます。費用はやはりかなりかかるんですが、大事になってくる周りを見ると、助成金を出しています。相模原市が年1回2万2千円、海老名市が上限3万円とする半額を負担します、それから大和市が半額負担してます。そういうのも近隣のまちは負担してます。これから健康管理が早期発見、早期の治療というのが大事だと思うんですが、座間市は何か少し遅れているかなと思うんですが、検討して助成金あるいは県内の市町村でもかなり多くが出しています。ぜひ検討をしてもらいたいと思います。

件名	地域別懇談会 【ひばりが丘・小松原地域】	頁	16/32
日時	平成21年10月15日(木)	場所	ひばりが丘コミュニティセンター

【コンサルタント】

ありがとうございます。もう1点でお願いいたします。

【参加者】

マスタープランの中に土地利用っていう部分ありますか、土地こういうものを整備してありますね。ここに1点お話ししたいんですが。平成13年に芹沢公園の検討委員会があったんです。その日確か30人くらい、関係者が殆どで一般から8名くらい出たんですが。その時に会の設計図、プラン立てるかなりの設計にお金かかったと聞いておりますが、だいたい10月に行われまして、4回にわたって検討委員会がありました。私よく孫を連れて公園に行くんですけど、ほとんどが相模原そういうところに行きます。魅力が全くないというか、子どもたちに対する魅力は芹沢公園は無いですね。で、あれだけ4回にわたって検討委員会、長い期間かけてやりましたから、この第三次総合計画ですか、ハイスピードかどうかちょっとわからないんですが今現在どのように進行してるか、これから継続するのとか聞きたいんですね。今の状況について何もわからない。皆さんの提言を入れるようなものにしてもらってますので、現状の経過状況を聞きたいんですが。平成13年10月から続いています。

【コンサルタント】

ありがとうございます。それでは最後のほうにご紹介いただくということで、準備のほうお願いいたします。芹沢公園の整備経過ですね。それでは引き続き前の方の方、手挙げてらっしゃいましたのでお願いいたします。次、奥の方いきますのでお願いします。

【参加者】

ひばりが丘の〇〇と申します。とにかく色んな要望なりそのへんはあるので、市の財政とかそういう問題あるかと思えます。この後期計画もさることながら、常々ちょっと気になる点が、市町村合併という話がありますけれども、このへんのことについては座間市はどのように考えているのか、これ座間市だけ考えても始まるお話じゃないんで、それっていうのは市の全体の行政の効率化とか何とか、どういうメリット、デメリットあるかどうかなんですけれど。その点をどういうふうになってるかお聞きしたいということです。以上です。

【コンサルタント】

わかりました。これも最後忘れずにご回答いただければと思います。後ろから3番目の方ですね。あと、せっかくですから若い方もご参加されてると思いますので、遠慮なくご発言いただきたいと思いますので、よろしくお願いいたします。

【参加者】

3丁目の〇〇と申します。まず1点お尋ねしたいんですけれども、交通の問題です。市役所に行くのにひばりが丘からですと、マイカー持っている人は車で行けばそれでよろしいんです

件名	地域別懇談会 【ひばりが丘・小松原地域】	頁	17/32
日時	平成21年10月15日(木)	場所	ひばりが丘コミュニティセンター

けれども、車の無い方それから高齢化になりますと、どうしても運転のほうもおろそかになると思いますので、高齢化に向けまして、市役所へ行く交通の問題についてご質問いたします。まず、私もどちらかというと歩くほうなので、マイカー利用ではないほうなものですから、コミュニティバスとか一般の市のバス、市役所に行く場合ですと、ひばりが丘1丁目からバスに乗って、市役所の入り口で降りると。そのバスは1時間に1本しかありません。平日も休日土曜日同じく毎時1時間に1本しかありません。したがって、役所に時間が決められてる場合は時間等の合わせて行きますので、とても不便を感じております。それから、コミュニティバスについては、こちらの南児童館から出発するのは午前2回、午後2回、というふうになっております。それでまた11月1日からコミュニティバスの時刻、運行コースも変わったように今日の広報に載ってございましたけれども、そういったことも踏まえて、コミュニティバスにつきましても、定員が確か10名ですね、10名になりますともう途中のバス停で乗り換えの人が来てもみんな通過されちゃいますので、乗りたくても乗れないときがままあると、そういったことで役所に行くのに非常に不便を感じておりますので、その点をご一考願いたいと思います。以上です。

【コンサルタント】

ありがとうございました。このあたり先程施設を造るときは駐車場という話もありましたし、車の話もありましたコミュニティバスの話もありました。様々な分野から様々な方向で車利用の話は車あるかどうかって話はあると思いますので、後ほど市のほうからご発言をいただければと思います。その他の方どうぞご遠慮なく、それでは前のほうの方お願いします。

【参加者】

私、〇〇の〇〇と言います。先程から出てますけど、今の団塊の世代の方々ですね定年退職して、高齢化65歳以上なのか難しいと思うんですけども、色々な人材が沢山いると思うんです。今確か座間市の職員がだいたい千人くらいじゃないかと思うんですけども、ボランティアでみんな元気に活動する人は、ボランティア等色々なことやってると思うんです。中高年が定年過ぎて、足がきかなくなる、動かなくなるまでは元気な方は、積極的に色々な分野に市と一緒に、ボランティア、観光案内なんかのボランティアですねそういう有効利用といいですか、そういう言い方しちゃいけないかもしれませんが、そういう元気な方を上手く利用する、そういう先程ちょっと意見が出ましたけれども、ひとつもう一回市のほうで行事しても参加者が少ないんじゃないかということありますけど、それは多分おそらく魅力がないと思うんですよ。魅力があるものは黙ってたって人が集まってくるんです。そういうようなことを少し市のほうと、そういうような地域の懇談会というんですか、そういう色々な意見をくみ上げるのはひとつの方法だと思うんですけども、そういう意味もふくめまして色々と考えていただきたい。中高年の方がいきいきと生活出来るように、そういうようなものをですね、提案できればと、市のほうの方ですね、そういうふうに思います。これ色々案とか色々考えなきゃいけないとおもいますけれども、いきいきと生きていけるような、そういうようなことが出

件名	地域別懇談会 【ひばりが丘・小松原地域】	頁	19/32
日時	平成21年10月15日(木)	場所	ひばりが丘コミュニティセンター

そういう話がきたのかもしれませんが、確かに見てみますと写真付で三十数箇所ございまして、かなり危険なところが多ございまして、この辺りの子どもが、いつどういのかたちで、特にひばりやそういった込み入った狭いところが多いもので、おそらくこれは他の座間の他の地域でも小学校関係で通学、下校その他色々問題のあるところがあるんですが、ひばりが丘地域はかなり狭いんですね。この辺りを早急に改善してもらいたいという切実な要望が来ておまして、それについては審査を過ぎたとかいのかたちもあるかと思いますが、こういう場を借りまして、1年2年でとは言いませんけれども、出来るだけ早急に市民計画の中で、子どもたちに対する小学校等に関しまして、これは防犯ということも含めた総合的な見地からそういうところを大至急改善をお願いしたいと思っております。以上です。

【コンサルタント】

ありがとうございました。子どもの環境、歩行者の環境ですね、関連で今マイクが参りますのでお待ち下さい。

【参加者】

先程の問題ですが、これはPTA、警察、市役所、道路課全部入って5年ぐらいですか。全部写真撮って、リスト上がってると思います。私のところにも全部資料あります。それでどこも直してないというのが現状です。何のために市の人、警察の人まで来て、PTAをみんな集めて、我々地域の自治会の人を集めてという経過をやった経緯があります。直っているところがまず1つありません。なんのためにやったのかと。写真撮ってあるのがミラーの位置、ミラーの位置は簡単に変えられるのでミラーの位置だけは一箇所変わってるところは私も見てます。あと、道路も狭い道路でU字溝がある底が10cmもある高さになっている場所があります。これも道路課の人が来たらそれは後で話しますからというのは、全然結論が出てないというのが現状なので、こういうことだったら、わざわざ我々を呼んで調査をする必要もないだろうし、これからもそういうこと、まだデータ残ってると思います。もしあれでしたら私のところにデータまだしまってると思いますので、よろしく願います。以上です。

【コンサルタント】

ありがとうございます。後ほど事実関係で補足の説明が市から必要であればお願いいたします。それではどうでしょう、まだ、ご発言されてない方がいましたら優先しますが、真ん中の方、手挙げてらっしゃいますのでどうでしょうか、では真ん中の方お願いいたします。

【参加者】

先だっのサニープレイスのこの会のときに、座間にホテルがないということをおっしゃった方がいて、後でその方とお茶を飲んで話をさらにしたんですけど、遠いところからわざわざ来て下さったグループが、仕事が終わってここに泊まる場所を探してくれないかと言ったら、うちは無いんだと、隣の町行ってくれて言って恥をかいたという話を聞きました。確かにホテ

件名	地域別懇談会 【ひばりが丘・小松原地域】	頁	20/32
日時	平成21年10月15日(木)	場所	ひばりが丘コミュニティセンター

ルがほしい。私、今日、座間の市役所のちょうどこの峠を越えた向こう側が座間ですよ。まさに、あそこが昔の座間のみやこだったんですね。このこちら側、峠の入り口からこっちは昔はどうだったんですかとか、里山だったと言われたことがあったんですけども、色々聞いてみますと、確かにその通りで。こっちのほうが、しかし、考えてみると開けたんですよ、まちとして非常に開けた。どっちかというとなんか逆転しているように思われたんですけど、だけど、私はファミリーレストランが無い、喫茶店が無い、それから文房具屋さんが無い、そういうようなことを考えますと、市場があって、あったんですけども文房具屋さんが無いんですよ。学童の通学路に文房具屋さんがほしい、喫茶店も我々にとってっていう話しようと、そういう場所が無い、それからファミリーでもって一週間にいっぺんでも食事しようよというそのファミリーレストランも1つも無い、そう言ったら向こうが、2つあって、聞くところによると結婚式場があるそうです。ですから依然として、こっちは田舎なんだという、行政の方が見下しておられません。どうぞ、そのへんを切り替えて、こちらのそういったサービス業をよくしていただきたい、そういうことを思います。

【コンサルタント】

ありがとうございます。その他の方、それではよろしいですか、最初にこちらの方手挙げてらっしゃいましたけど、譲られますか大丈夫ですか。まず、先程手挙げてらっしゃいましたので。

【参加者】

私、災害救援ボランティアやっています。座間には災害の防災計画というのがあります。我々の今のここですと、小学校が、避難所というのと謳われています。ただし、役所が避難所運営というようなことは一向にやっておられません。計画に入ってますけど、やってないです。なおかつ、やっぱり避難所には職員が3人いまして、その人の教育もされてない。これから、今、東海地震なんか86%、直下地震70%、すでに色んなところから地震が発生してるわけです。やはり、もっと我々の命を扱うところですから、避難所の運用のほうを吟味していただいて、計画の中に入れていただいて、やっていかないと、今日くるかもしれません。そんなこともある。

もう1つは今のひばりが丘の2点目ですね、消防車が入らないというのは狭い道なんです。これに対してどう考えているのかということをお聞きしたいと思います。

【コンサルタント】

それでは、先程手を挙げていた前の方お願いいたします。時間もせまっておりますので、もしまだ発言されてなくて、これだけはと言う方は次準備して待っていて下さい。それではお願いいたします。

【参加者】

私、ひばりが丘の〇〇と申します。皆さん色々市のみなさんに要望事項あげておりますが、

件名	地域別懇談会 【ひばりが丘・小松原地域】	頁	21/32
日時	平成21年10月15日(木)	場所	ひばりが丘コミュニティセンター

私も今まで色々中で要望したら、座間市では金がないから何も出来ないというのが実感的に今まで経験して、色々言われました。皆さんがこれから要望したやつを1つ1つ実現していくにはやっぱり金がないと出来ないと思うんですよ。座間市が団塊の世代になって、今まで会社で十分に高い金払ってたのを今年年金の安いのになって、だんだん座間市、財政、收入的にだいぶ年々減ってきていると思います。こういう面から言って、大きい会社を誘致するなり、座間市の収入源をどのように将来的にやっていくのか、これのところがどういうふうを考えているかお聞きしたいと思います。以上です。

【コンサルタント】

ありがとうございます。これも最後のほうに収入源の話は今後の話だと思いますけど、今の財政状況など、もしご報告ありましたら市のほうからお願いしたいと思います。では、出来ればまだご発言されてない方にいただきたいと思いますが、よろしいですか。こちらの方ですね、お願いいたします。

【参加者】

2丁目の自治会の〇〇と申します。2点ばかりお伺いしたいんですが、ひばりが丘小学校区域で、殆どの自治会で子ども会がなくなってます。これはどういう状態なのか、市のほうでは把握しているのでしょうか。それから私どもの自治会では子ども会ありますけど、子ども会で保険に、市のスポーツ保険みたいのに入れてほしいと言ったら、子ども会の市子連がひばりが丘にはないから、入れられないということなんですね。たったひとつの子ども会なんです、ひばりが丘で入るのが。これは、やはり先程の高齢化じゃないですけど、お母さんたちも共働きなどで、役員のやり手がないということで、子ども会がだんだん消滅していつているわけです。たったひとつ残っている子ども会が何かやろうとするとそういうものに入れなくて、怪我をさせたら困るということで何も出来ない状態なんです。これをひとつ考えていただきたい。

それからもう1つ。これは市のほうに私どもの会員の人から2点ばかり要望を出してるんですけど、1つはショッピングタウンという商店街の街灯が取り外されたんですよ。老朽化しまして、街灯撤去したんです。暗くなりまして街灯つけてほしいということで7月に私どもの住民の方がお願いにあがったら、すぐに行ってやりますという返事だったんですけど、これはいまだについてないと、見にも来てない状態。それから、私どもの地域の中に子ども公園というのがありますが、そこの公園に木が生い茂ってるんですけど、皆さん高齢化でもって毎日のように落ち葉が落ちてきて掃くのも、みなさん交代で掃いているらしいんですけど、大変なので枝のはらいをしてほしいということで、去年くらい私も2回公園緑政課のほうに行ってお願ひしています。これもいまだにまだ回答をいただけてませんので、そういうのもよろしくお願ひしたいと思います。

【コンサルタント】

ありがとうございます。これも後ほど事実関係などで補足や市のほうから今こういう状況で

件名	地域別懇談会 【ひばりが丘・小松原地域】	頁	22/32
日時	平成21年10月15日(木)	場所	ひばりが丘コミュニティセンター

すとか、そういう報告がございましたら後ほどお願いしたいと思います。時間もせまってまいりましたので、もう数名の方お願いしたいと思います。せつかくですから、ご発言されてない方含めて。こちらの方お願いいたします。

【参加者】

ひばりが丘の〇〇と申します。今までの色々と意見なり、苦情なり色々出して聞いてたんですけども、このへんは色々要望してもやられてない、また今後こういう計画を出しても非常に不安だと、こうなりますとせつかくやったこういう会合が無駄になるということではないんですけども、心配の面があるわけです。そこで、今、日本の国自体が改革の時代に入ってるわけですよ。ですから市のほうも、まわりの人たちを見ると、かなり年配の方たちが多いみたいですけど、もっと若い人入れて、改革するという市の役員あるいは改革する市議会とか市長も頑張ってもらいたいと思います。以上です。

【コンサルタント】

ありがとうございます。どうでしょうか、いくつか最後にまとめてお話しいただく前に、いくつか、今道路の関係、街路灯の関係であるとか、先程歩道の子どもたちの安全の関係で調査をしたけどどうなっているんだとか、現状での取り扱い状況などせつかくですので、誤解のないように皆さん同じように共有したほうがいいと思いますので、もし市のほうから何か今の現状ご説明ありましたら、現場の方お願いいたしたいと思います。

【市役所】

都市部長の和田と申します。よろしくお願いいいたします。私のほうに公園、それから道路とか、何点かいただいております関係でご説明をさせていただきたいと思います。まず、芹沢公園でございます。芹沢公園は座間市で唯一の総合公園という位置づけになっておりまして、工区を4つに分けております。そのうちの1工区2工区が整備が済んでおりまして、今開園されている部分でございます。ですから、3工区4工区が残っていて、今開園されているのが半分ということになります。そして、今工事を行っているのが3工区になります。3工区は今年度で完成の予定となっておりますが、3工区については斜面の部分ですから、できても斜面のところの遊歩道くらいでございます。平面で残っているのが4工区になりまして、これが最終工区になります。

【参加者】

ちょっといいですか。今1工区2工区というもの我々わからないわけですよ。だから、だいたい場所が、こういうところはやっていますというお話をいただかないとわからないです。

【コンサルタント】

簡単で結構ですので

件名	地域別懇談会 【ひばりが丘・小松原地域】	頁	23/32
日時	平成21年10月15日(木)	場所	ひばりが丘コミュニティセンター

【市役所】

芹沢公園1工区2工区といたしますが、芝生広場がございますね、大きな芝生広場。それからその南の今地元の皆さんで菖蒲を一生懸命植えられている場所、そういう広場、今使っている部分が1工区2工区になります。当然整備が済んでいるところでございますので、皆さんに使っていただけてると。3工区4工区はこれからになりますから、もちろん総合公園ですから、色んなものが入ってくる、そういうなかで、この芹沢公園について、平成13年頃に検討委員会等もやったということでございます。皆さんに入っていた中に色々検討していただいております。4つの基本方針というものも出来ております。それを決して市のほう忘れていたわけではございません。最終整備のなかでは、そういう基本方針に則った整備を予定しているところでございます。

また、ひばりの道路が狭く見にくく危険、PTAからの要望ですとなかなかやってくれないというお話ございました。確かにPTAさんからも要望いただいております、色んな要望、差別は決してしておりません。その要望の中で出来ることからやっておるんですが、要望箇所が、沢山、市内でもございまして追いついていかない現状でございます。ご理解いただきたいと思っております。

また、総点検をやったのに何も直っていないというお叱りのご意見もいただきました。まち歩き総点検、市内の中6箇所大きく分けて確かにやっております。その結果も全部残っております、順次やっているんですけども、何せこれも数が膨大でございまして、ご意見いただいた方からすると全然やっていないように写って、大変恐縮してございますけれども、一生懸命出来るところからの努力はしておりますので、ご理解賜りたいと思っております。

それから具体的なお話としまして、子ども公園の枝払いをお願いしたのがまだというお話をいただきました。これは、戻りまして公園緑政のほうに事実確認をしてみたいと思っております。

それから、一番最初の方に、相模が丘からひばりまでの計画道路ということでお話をいただきました。これは市境の相模原二ツ塚線のお話かと思っております。こちらにつきましては、現在北側の相模が丘分でございますけれども、県道の座間大和線へぶつかるまで、ここを神奈川県さんに整備をお願いしております、やっております最中でございます。お尋ねは、多分その南側のお話かなと思っております。こちらにつきましても、県さんをお願いしているところでございますが、県さんとしましても、まず、今やっているとこの整備をまずやっていきたい、その南側についてはそれからの検討課題であるというご回答をいただいております。

【参加者】

今の発言でよろしいですか。

【コンサルタント】

件名	地域別懇談会 【ひばりが丘・小松原地域】	頁	24/32
日時	平成21年10月15日(木)	場所	ひばりが丘コミュニティセンター

やり取りなら、またやりますけども。

【参加者】

やはり依頼に対しての計画書というのが出せれば、こんな言葉が出ないじゃないか。要望してるんだから、どのくらいでこういう計画がありますと、それに対して回答を出してないからそういうことが出て来るんじゃないか。

【コンサルタント】

多分これから行政の信頼を回復するためにとっても貴重なご意見ですね。民間だと CRM とか言いますが、顧客に対して、ちゃんとしたマネジメントしてということですね。時間もせまっていますので一言でお願いします。

【参加者】

今言っていた芹沢公園なんですけど、芹沢公園の話が出まして、1工区2工区3工区4工区と分かれてると、1工区2工区は既に終わって3工区が今年度予定で終わると。今年4工区までで今年中に終わるって前に聞いていたんですよ。3工区がやってるよりも、公園墓地の方がどンドンどンドン早く進んできちゃってますよね。公園墓地が道路に沿ってどンドン芹沢公園からこっちに動いてるんですよ。でも、公園墓地がそこに事務所も出来、それから3段階くらいで工事が進んでるので、市の芹沢公園の3工区4工区が終わるうちに4工区に取り掛かる前に、公園墓地がこちらの日産の会社のところまで戻ってきちゃうんじゃないかと思うので、それで日産とのあれで売れてない部分があるからそのままだと思うんですけど、3工区4工区いついつまでどこまで終わるか明確にしてもらいたい。

それともう1点いいですか。先程、座間市に市役所に行くのに足の確保というかたちでコミュニティバスが午前中2本午後2本でことなんですけど、ひばりが丘の1丁目2丁目の付近に停まるのはコミセン入り口って表示されてるんです。ところが、コミセン入り口というのは今までセブンイレブンがあったところがだいたいコミセン入り口って言ってるんですけど、それよりも150mくらい工機寄りなところにコミュニティバス乗り場があるので、それを公民館11月に新しい場所が変わるのかどうか、それを確認したいんです。

【コンサルタント】

具体的な話で今お答えできるかどうか、そこまで資料お持ちかどうかもありますので、答えられる範囲で結構だと思います。すみません時間の関係もありますのでそのあとですね、お願いいたします。

【市役所】

企画財政部長の宮代でございます。私のほうからは2点ほどご質問に対してお答えしたいと思います。まず、1点目は〇〇さんですね、コミバスの関係のお話がありました。今現在、

件名	地域別懇談会 【ひばりが丘・小松原地域】		頁	25/32
日時	平成21年10月15日(木)	場所	ひばりが丘コミュニティセンター	

コミバスにつきましては市内5つのルートでバスが3台運行してございます。それからご存知の通り、今回のコミバスの目的といいますのは、公共交通の補完とお年寄りの方だとか身体の不自由な方、こういった方の交通の手段の確保というこういうひとつ大きな目的がございまして、それと座間市の道路事情見てもわかりますように、非常に狭い道路形態になってございまして、これは皆さんに責めるわけじゃなくて、現実的にそういうのがなってますので、現実の中でこのコミバスを運行しなければならないという状況でございまして、具体的にそのコミバスを今バス停の関係にございましたけれども、これについてはよく確認をさせていただきたいと考えておりますので、よろしく願いいたします。

それから、財政状況の関係でお話ありました。座間市は大丈夫なのかということで、これは実は昨日のところでも、ご質問があったんですが、まず市の財政規模、これを説明いたしますと、21年度の関係で申し上げますと、一般会計で約310億円になってございまして、このうちの180億円が皆さんの貴重な血税でございまして、市税でございまして、約6割が市税と考えられると、あとは非常に気になるのは、今国会等でも話題が出てます赤字国債とかいう話が出てます。座間市の場合を見ますと21年度については約27億円、いわゆる借金ですね。これが全体の7%から8%程度ということで、国の財政状況からすれば、これは間違いなく大丈夫と、ただこの財政状況については、座間市だけではなく、周りの近隣市におきましても非常に厳しい状況にあります。したがって、皆様の今日いただいた意見を全ての事業に反映させることは非常に難しい。したがって、この事業の展開につきましては非常に精査をして、緊急性とか優先性を見極めた中で事業選択をして実施をしていきたいというふうに考えてご理解いただきたいと思います。以上です。

【市役所】

保健福祉部長の田中と申します。まず1点目が、病院が近くにあったらいいなというようなご意見いただきました。やはり、病院というのは日常生活において近くにあったほうが、なおさら救急のときに近くにあったほうがいいな、これは誰もが望んでいるような状況だと思います。ご存知の通り、座間市でも中型のといいますか、二次病院というのが過去に5箇所ございました。現在2箇所になっているような状況もございまして、このへんの計画でございまして、なかなか市としても病院を作るというのはなかなか困難な部分もございまして、現状では、医療の関係ですと、広域的な取り組みというのを行ってございまして、この地域でございまして、相模川を挟みまして、相模川の西側、厚木市、愛川、清川それから相模川の東側、海老名、綾瀬、大和、座間市、こういった医療圏というのがございまして、この中で、特に救急医療等が発生した場合におきましては、相模川の東側4市、海老名、綾瀬、大和、座間という4市の広域で救急医療を協力しながら組んでいきたいというようなことで話し合いを持たせていただいております。あくまでも救急医療でございまして、1時間2時間かかるような搬送では困るわけでもございまして、少なくとも近隣市と協調しながら、この救急医療につきましては、協力しながら近隣との協働の中で事業を進めさせていただきたいなというこんな方向付けをさせていただいております。

件名	地域別懇談会 【ひばりが丘・小松原地域】	頁	26/32
日時	平成21年10月15日(木)	場所	ひばりが丘コミュニティセンター

次に、高齢化に伴いまして老人施設の整備、こういったもの入所するときには入所金がかかりかかって、なかなか入れないじゃないかとかそういったご意見をいただきましたが、介護の入所施設等の整備計画につきましては、今回ご提案をさせていただいてございます総合計画の理念に基づきまして、保健福祉部のほうに個別計画がございます。この中に毎年、期別には3年ごとに1期と定めさせていただきまして現在21年度、4期目の介護保険事業計画というものをスタートをさせていただいてございます。この中で高齢化率ですとかそういうものを勘案しながら今後ひとつの整備というものを図らせていただいているところでございます。

先程、入所金が高いというのは有料老人ホームの関係であると理解してございます。私どものほうで整備をさせていただけます特別養護老人ホーム、介護老人保健施設こういった大型の施設の整備も含めまして、こういった事業計画の中で計画を進めさせていただいているところでございます。

それから、健康診査含めまして人間ドックの関係のご質問でございますが、人間ドック他市は補助金等を含めて健診の増進を図ってるじゃないかというようなお話がございましたが、医療制度改革が20年度に改正がされまして、従来、私どもといたしましては19年度まで基本健康診査というかたちで市民の方にご利用いただいていたところでございます。私どもの市の基本健康診査、他市が行っているような人間ドックと同等の検査項目等をメニューの中に入れさせていただきまして、実施をさせていただいたところでございますが、20年度から医療保険制度が変わりまして、特定健康診査を各加入されてます保険の中で受けて下さいとこういった制度に変わりました。これを私ども受けまして、市が実施しております国民健康保険にご加入の方、こちらの基本健康特定検診につきましても人間ドックに近いようなメニューを医師会と打ち合わせの中で吟味をさせていただいて、受けていただくような事業を実施をさせていただいています。さらに人間ドックでありますと、がん検診とか、そういったものを併用される方もいらっしゃると思います。今年度、がん検診をさらに健診項目を増やさせていただきまして、今年度は女性特有の乳がん、子宮がんこういったものも実施をさせていただくようなかたちで取り組みをさせていただいている状況でございます。以上です。

【市役所】

先程ショッピングタウンの防犯灯、街路灯ですかお話がありました。これにつきましてはよく確認をさせていただきたいと思っております。よろしく願いいたしたいと思っております。

【市役所】

教育部長の中村と申します。先程、〇〇さんのほうから子ども会のお話ございました。ひばりが丘には1つの子ども会しかなく、保険にも入れないというようなお話ございました。その辺ですね、私どものほうよく確認させていただきたいと思っております。

子ども会が少なくなっているお話もあったわけでございますけれども、確かに少子化の問題等もございまして子ども会が減少しているということを十分認識しております。それ以外にも親御さんのほうにも役員が回ってくるのが非常に大変だというようなことありまして、子

件名	地域別懇談会 【ひばりが丘・小松原地域】	頁	27/32
日時	平成21年10月15日(木)	場所	ひばりが丘コミュニティセンター

ども会をなくしてしまうというそんな事例もあるわけでございます。私どものほうとしては、やはり子ども会必要と思っておりますので、今後よく検討してまいりたいと思っております。よろしく願いいたします。

【コンサルタント】

それでは皆さんのまず現状に対する、今、このあたりはどうなってるんだというあたりは今のところでのお話ありました。ただ、今後の話はこれから決めてく話、市のほうで検討する話ということで今日の話を持ち帰ってということであると思います。最後に市長さんのほうから今後の方向性も含めて一言いただければと。

【参加者】

ちょっと待ってよ。一つだけ。すぐだよすぐ。

【コンサルタント】

やりとりというか一言で終わらせていただければと思います。

【参加者】

今災害が、耐震がとか色々問題が起きてますけど、座間市として耐震基準とか耐震マニュアル、そういうものは備わっておりますかどうか、一言返答願いたいと思います。

【コンサルタント】

どうでしょう、建築の基準の中で決まっているものはあると思いますが。

【参加者】

何も無いんじゃないかな。

【市役所】

まず、耐震基準というのは、建築基準法という建物の法律がございますので、そちらでしっかりできてます。市のほうとしましては、昭和56年以前に建てた木造住宅に対しては耐震診断、そして耐震改修工事の補助を実施しているところでございます。また、公共施設につきましても、耐震診断をかけて、耐震基準に満たないもの、例えば学校とか、耐震補強そういうものを今順次実施しているところでございます。

【参加者】

何か市民にはまわっていないということですね。

【コンサルタント】

件名	地域別懇談会 【ひばりが丘・小松原地域】	頁	28/32
日時	平成21年10月15日(木)	場所	ひばりが丘コミュニティセンター

そこは多分、市民の私有財産の話もありますので、なかなか回答難しいと思いますが、制度はあるということですね。

【参加者】

その辺ははっきりしてこないとやっぱりなってからじゃ遅い。

【コンサルタント】

そういう制度はあるというお話だったと思います。それでは最後よろしく願いいたします。

5. 市長挨拶

大変お疲れのところを貴重なお時間頂戴いたしましてありがとうございました。時間もせまっておりますので、私のほうから今日いただいたご意見等踏まえて、まとめをさせていただきたいと思うわけですが。色々な観点から貴重なご意見そして厳しいご指摘を多々頂戴したわけでございます。常々思うんですがございますけれども、やはり本当にこの座間のまちを含めて日本全体が大きな曲がり角にきているなという思いを改めて強くするわけでございます。色々な角度から、これからどのように私たち市民が国民が安心安全にこれから将来に向けて生活をしていけるのか、これはやはり共通の課題であると思います。こういったもののアプローチをどういうふうにするのか、様々な角度からの取り組みをしていかなければいけない。そのなかで今日ご指摘をいただいた点の中で、私が強く感じているという印象的な話がいくつかあるわけございまして、そのあたりについてお話を申し上げたいと思います。

細かい課題については今各部長のほうからお話しさせてもらいましたけれども、まずは今日はひばりが丘小松原の皆さんお相手をしてご意見を承っております。小田急線を挟んで西側と東側で格差があるんじゃないかと。ようは旧、座間の本当本来から人が住んでいた里の部分とこの台の上、すなわち戦後の高度成長にしたがって開発がなされ、都市化がされて人々が多く住むようになった地域との間に大きな格差があるんじゃないかというふうなご指摘がこの地域にくると様々あるわけでございます。これは、やはり残念ながら、戦後の一連の座間市の都市化をしてきた流れの中で、都市化の進展に都市計画が追いついてこなかった。こうした弊害が大きくここにきて課題として出てきてしまっている。先程、消防車が入れないような道路の関係ですとか、学校の関係で子ども達に道路の安心安全を考えても危ないんじゃないかというようなお話もございまして、また、インフラストラクチャーのなかでの喫茶店ですとか、ファミレスだとかの話もあったわけでございますけれども、結局、これは市が整備するものではないわけですが、一定の経済原則にしたがってここに立地をしても商売にならないがゆえに店閉められちゃうわけです。店もないわけです。これ自体がやはりこの座間が抱えてる課題。昨日のお話のなかでも、座間のまちの中にショッピングセンターが無いじゃないかと、大和行けばイオンとヨーカドーのオークシティですか、ああいうものもある。海老名に行けばピナウオークもある。座間でお金落ちなきやしょうがないじゃないかと、こういう厳しいご指摘もい

件名	地域別懇談会 【ひばりが丘・小松原地域】	頁	29/32
日時	平成21年10月15日(木)	場所	ひばりが丘コミュニティセンター

ただいてるわけです。これについても、今現在座間の17.58㎢という地域の中の市街化区域、殆どが開発をされてきてます。現在開発されて皆さんが住まわれてる、また工場があるさらには色んな施設がある、こうした土地利用がなされてる中で新しいものをこれを求めるといってもこれはやはり無いものねだりになってしまう。であれば、どういうふうを考えるべきなのかと私が思うのは、やはり座間1市で考えるのではなく、今後市町村合併の話もありましたけれども、合併するとかしないとかという問題抜きにして、東京横浜のベッドタウンとして12万8千5百という市民が相集い、住むようになったこのまち、まさに住宅都市。本来は工場が進出をして生活拠点としての位置づけがあったんでしょけれども、それが時ならずしてこのように本当に住宅都市になった。多方の方が買い物を外に行かれる、子どもたちは中学校までは市内にいても高校になればどんどん外に行かれる。今日ここにいらっしゃる皆さんにおかれても、大方は特に現役世代のときには、ここをベッドタウン、夜のねぐらとして、昼は外に働きに出られる、こういう日常を送ってこられたんじゃないかと思う。そうした皆さんがここへきて、一斉に第一線からリタイアをされて、終の棲家として購入をされた住宅、ここに朝昼晩と寝起きをし、暇な時間を様々な活動に使われ、中には貴重なご提言もございました、団塊の世代を含めて能力が高い人材がいっぱいいるじゃないかと、そういう人たちがもっとまちの中で活動していただく、趣味の世界でもボランティアの世界でも活動していただくということが、このまちの財産になるんじゃないかと、こういうご提言をいただきました。これはあちこちでお話しさせていただきます。私本当にこれこそが座間にある財産だというふうに思うわけです。では、この方たちをどのように、今まで外に向いていた関心を内に向けていただけなのか、これがこれから私どもが取り組んでいかなければならない大きな課題だというふうに思うわけです。

都市基盤の整備修繕維持の関係についても色々なご提案、それから苛立ちのお話がありました。道路が直ってないじゃないか、街路灯が駄目じゃないかと、側溝もそうだ、老人憩いの家もそうだ、本当にその通りだと思います。第三次総合計画の前半の10年が建設の時代、これも色々な考え方があります。今考えれば、非常にバブルの時代、浮かれてる時期に計画策定がなされ、それによって実際実行したときにはバブルから失われた10年といったようになって、結果にすれば、高い買い物をしてる部分がある。また本来ならばもっと力がある時期に、道路整備それから下水道の面整備等もやっていけばよかったのかもしれないけれども、これも結果として行ったのはこの第三次総合計画の中で行ったわけです。これについて、ここでやはり先程財産の部分での指摘もございましたけれども、残した借金ピークでは330億近くあったもの、これを今度は後半の10年間で本当に爪の先を灯す思いで皆さんの忍耐を強いながら返済してきた、百数十億円返してるわけです。

そうしたなかでものを直さないと出来ないよと、このところこんなふうにしといたら使えないんじゃないかというふうなお訴えが今日もいっぱい出てきているわけです。こうした点についても今まで用いてきたインフラストラクチャーというものをいかに維持管理をして、また必要な修繕というものを加えながら、これを市民の用に供するかということ、これを考えなきゃいけない。これを市が財政的な措置を被ると同時に、ここが私あえて市民協働という言葉あまり使いたくないんですけども、やはりこのまちの中で共に生きていく、共に生活をしてい

件名	地域別懇談会 【ひばりが丘・小松原地域】	頁	30/32
日時	平成21年10月15日(木)	場所	ひばりが丘コミュニティセンター

っていただく皆さんと行政とがやはり同じ目線に立って考えながら、お金をかけずにやっていただけることに関してはご協力いただき、やはりこうした部分でのコミュニティのあり方というものをもう一回考えていく、こうした努力が私たち行政にも課せられた大きな課題になっていくと思います。そして当然、それについては今日ここにそういった意識を持っていただいている皆さんだからこそ、お集まりをいただいているわけですし、どうかそこにお知恵を出していただき、また足りないところに対して叱咤激励をいただきながら、そうした取り組みを含めていきたいというふうに思うわけでございます。

ハードウェアからソフトウェア、ソフト中心こうしたご指摘もいただきました。まさにそうだというふうに思います。もうそれしかない、はっきりいってそれしかないように思います。団塊の世代の地域デビュー、一生懸命それも私もあちこちでその話を申し上げますし、そういった機会を捉えてぜひとも出ていただきたい、何かきっかけがあれば、そうした労力を生かしていただく、そういう方たちも市内でいっぱい私も存じ上げております。ぜひそういう輪というものを多面的に広げていく、色んなかたちで。今日は自治会の話がいっぱい出ておりますけれども、自治会というのは本当に一番基本的なそこに住まう人たちの単位としてある一番重要なコミュニティです。それ以外にも今これだけ世界の価値観が多様化している中で趣味のサークルもそうですし、ボランティアのサークルもそうですし、お子さんを通じての人との繋がり、または同じ世代の繋がり、色んなかたちのそういう繋がりがあろうかと思えます。そういうものを多面的に重ね合わせ、やはり人と人との接点というものを今まであまり意識をしていなかった部分をもう一回市民ひとりひとりが意識をするなかでこれを再生させていく、これが必要になると思います。

災害ボランティアネットワークの〇〇さんいらっしゃってますけれども、この前もやはりこうした観点から、先程危機感溢れるお話いただいたわけですがけれども、地震が起こったらどうするの、今市の取り組み防災計画一応書いてある書類はあるけれども実際それについて動いてないじゃない、こういうご指摘もいただきました。これも事実です。先程のその避難所、これは避難所を開設したときのマニュアル出来たって、あったって使ってないんじゃない、実際どうなるのかやってみなきゃわからないじゃないか、こういうことやらないでどうするんだ、とこういう厳しいご指摘もいただきました。これも全くその通りだと思います。

こうしたこと、ひとつひとつやはり私も受け止めながら、今日こうして生の声をいただいているわけですし、市内各地でこうしたお声をいただきながら、おそらく今日ここに居並んでおります私どもの各職員も生の声をいただくということは、ここしばらくなかったというふうに私も実は聞いて驚いているんですけれども、それをきちっと受け止めさせていただきながら、これをまた明日、それから来週3箇所各市内の地域それぞれの皆さんお考えがあらうと思えますし、お立場によって、また問題意識も違ってくるかと思えます。全部伺わせていただいた上で、これまた整理をさせていただいて、少し具体的に踏み込んだものを今度は次期の総合計画の原案として、また皆さんの前にご提示を申し上げてご意見頂戴したいというふうに思うわけでございます。

医療機関の関係もどこへ行っても話をされます。全くその通りです。医療圏の話、保健福祉

件名	地域別懇談会 【ひばりが丘・小松原地域】	頁	31/32
日時	平成21年10月15日(木)	場所	ひばりが丘コミュニティセンター

部長ちょっと足りなかったんで補足させていただきますと、この県央医療圏というのは私どもが決めたんじゃないで、県が決めたような話なんです。県の中で県も金がない、国も金がない、今回民主党に政権が変わった中で、結局今までの自公政権がやってる中で足りないじゃないかとおもっている国民の意識がこういうかたちになったと思うんですけれども、医療の問題、年金の問題、介護の問題、とにかく心配で心配でしようがない、不安で不安でしようがない、それは国も金がない、県も金がない、市も金がない、自分たちも金がない、この中でいくら詭弁を弄しても無理な部分があるわけで、県央医療圏というくくりを作って私ども座間市、綾瀬市実際に医療資源が足りないんですよ。だから、データの中で見れば、他に隣行けばいいじゃない海老名にいっぱいあるよと、大和にいけば市民病院があるよと、ほかのところ行けばあるよと、第三次の部分については北里があります、東海大学あります、そこで受かってもらえばいいですと簡単に言うてもらうけど、市民の気持ちからしたらそうはいかないです。やっぱり近くにあってほしい。それについては、私どものほうとしましても今、ここにもありますけれども県央医療圏として病床過剰地域なんて言われてるんですね。病床が多いからここは整備しなくていいんだと、だけでもそうじゃないでしょと、市民からすれば当然の話なんです。それらを受け止めながら、これは県に対して、国に対して実際そうじゃないじゃないですか、それに即してやはりお願いをしていきたいという要望はこれは私ども行政の責任としてやっていかなきゃいけない。

さらに、もう少し言わせていただくと、合併という話ありましたけれども、合併ということはこっちに置いて、基礎自治体を任せていただいて1年になりますけれども、本当にこういう1つ1つ市民の生活に密着したサービス、これが殆ど行政の仕事になっている。おそらくそれが9割がたそういう仕事になっている。その中でそれをまず果たしていく。だけど費用対効果なり効率性というものを考えたときに、広域で連携をするなかでもって、もっと効果が出るようなものがあるかもしれない、これは柔軟に考えてお互い助け合ってやっていく、こういうことも必要になってくるんだと思います。逆に、市町村合併を進めた結果、特に地方行った場合、財政的な課題から中核都市の周辺の町村部が合併をせざるを得なくなって、しちゃった結果、本当に周辺地域が全体的な行政の網からこぼれてしまって、サービスが行き届かない、こうした課題というのは全国各地山積をしているというふうに私も承っております。それからすると、やはり私はこの17.58 km²という狭いまちが、この狭いまち7300人の人口密度があるところに、128,500名が住んでらっしゃる、ここの中できめ細かい行政サービスというものを、これが第一に私どもの座間市に与えられた使命であるし、義務であるというふうに思うわけです。それをまず果たしながらさらに広域連携の中でもって、取り組んでいける課題については柔軟思考でやっていくということを含めてこの総合計画の中では、皆さんの期待に応えるように考えていきたいというふうに思っております。

今日は、本当に色々な角度から忌憚のないご意見、そして厳しいご指摘も頂戴しました。ぜひ、これを参考にさせていただきながら、今後の取り組みにつなげてまいりたいというふうに思いますので、今後ともどうぞよろしくお願いしたいと思います。どうもありがとうございました。

件名	地域別懇談会 【ひばりが丘・小松原地域】	頁	32/32
日時	平成21年10月15日(木)	場所	ひばりが丘コミュニティセンター

【コンサルタント】

それでは意見交換のほうはここでお開きにさせていただきます、最後閉会の一言をお願いいたします。

6. 閉会

皆さん今日は7時から、まだまだ時間は足りないかと思いますが、予定しました時間がまいりましたので、以上をもちまして地域別懇談会を閉じさせていただきたいと思います。大変ありがとうございました。